

5分でわかる「25の小さな夢基金」



「25の小さな夢基金」とは…

中国全土で施行されている「春蓄計画」に基づき、経済的な問題や、昔ながらの慣習によって教育を受けることが難しい貧困少数民族女子を支援しています。雲南省にある「昆明市女子中学」と協働し、春蓄班に通う彼女たちの高校生活3年間を1対1でサポートするプロジェクトです。支援者のことを当基金ではサポーターと呼びます。サポーターの支援額は春蓄班で学ぶ学生一人につき30,000円（年間）。高校で学ぶための就学費用として、協会及び学校を通して支援生徒に支給されます。

「春蓄計画」とは？

急速に経済発展を遂げる中国で、農村地域を見るといまだ厳しい発展途上にあります。特に少数民族の女性の生活は伝統的な風土の習慣が重視され、児童の中退や女兒の非識字問題などが数多く残っています。様々な状況で生活する少女たちが抱える問題を解決するため1989年に中国児童少年基金会によって「春蓄計画」が開始されました。雲南省辺境地域の貧困少数民族女子の人材育成は1997年に開始されました。

昆明市女子中学について

昆明市女子中学は1908年春に設立し雲南省において女子教育の先駆となった学校です。日本では国立中学に相当し、中学（初中班）と高校（高中班）が同じ敷地内にあります。中学は義務教育で男女共学ですが、高校は政府の規定に基づいた経済的困難を抱える少数民族女子のみを選抜した「春蓄班」で彼女たちは学校の敷地内にある寮で生活します。日本雲南聯誼協会は昆明市女子中学で高校生として教育を受けている少数民族女子を支援しています。

～支援金の仕組み～



春蓄生の区分

昆明市女子中学の春蓄班は選抜母体の違いによって3つに区分されています。いずれの班においても政府が規定した基準に則しているため同程度の貧困レベルで、中でも優秀な成績を収めた学生が対象となっております。

五華区春蓄班：昆明女子中学の所在地である五華区に住民票を持つ生徒

昆明市春蓄班：五華区を除く昆明市に住民票を持つ生徒

雲南省春蓄班：昆明市以外の雲南省全域に住民票を持つ生徒

入学の手順

【農村戸籍の学生の場合】

【雲南省春蓄班の場合】



【事業拡大のお知らせ】

2006年より当協会は雲南省春蓄班のみにフォーカスを当てた支援を行ってきましたが、昆明市女子中学と話し合った結果、2019年9月より五華区春蓄班及び昆明市春蓄班の生徒も含め新入生180名を支援する運びとなりました。



【実績】

プロジェクトは2006年に始動し、現在(2019年度)までで811名の生徒を支援してきました。多くの子供たちが大学に進学することができています。

【サポーターと少女たち】

- ・サポーターと奨学金受給者は手紙や写真を通し、心を通わせながら成長を見守ることができます。
- ・希望者の方は現地学校訪問、卒業式参列など実際に支援した生徒と会い、交流を深めることができます。

※少数民族と記載されていますが、支援する生徒の中には経済的な状況により教育を待っている漢族の少女たちも含まれます。